

2019年度米海軍佐世保基地内大学就学希望者募集

米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会では国際性豊かな人材育成を図るため、米海軍佐世保基地内大学への日本人就学希望者を募集いたします。

1. 米海軍佐世保基地内大学とは

米海軍佐世保基地所属の軍人や軍属の方、そしてその家族に大学教育を受ける機会を与えるために実施されているプログラムを指しており、現在、佐世保では「メリーランド大学 (UMUC - University of Maryland University College) が日本人の就学希望者を受け入れています。

⑨大学として独立したキャンパスは同基地にありません。基地の施設である、コミュニティー・エデュケーション・センター内に大学の事務所や講座室などがあります。

2. 履修できる学位課程およびプログラムと入学に必要な学力と英語の資格

メリーランド大学 University of Maryland University College

コース	学位課程 およびプログラム	入学に必要な学力と英語の資格					英語の資格 有効期限
		学力	英語の資格 (いずれか)			英語の資格 有効期限	
			TOEFL iBT	TOEFL ITP	IELTS Academic Module		
入学 準備	ブリッジ・ プログラム	高等学校 卒業 または 同等の学力 がある	45 点	450 点	4.0 点	2 級	取得から 7 年以内
正規 入学	学部課程 (準学士・学士)	4 年制大学 卒業以上	79 点	—	6.5 点	準 1 級	取得から 2 年以内
	大学院課程 (修士-MBA)						

- メリーランド州のアデルファイに本部がある通信制教育に特化した州立大学で、佐世保を含めた日本国内の米軍基地については同大学のアジア地区の所属です。
- 授業は全て英語で、取得するのもアメリカの学位です。
- 入学準備コースのブリッジ・プログラムとはメリーランド大学で行われる ESL(English as a Second Language-英語が母国語ではない人向け)の英語力向上プログラムで、学位はありませんが、プログラム修了後は修了証が授与されます(7ページ参照)。
- 正規入学コースの学部課程の準学士は短期大学、学士は4年制大学、大学院課程の修士は大学院にそれぞれ該当します。
- 学力の「高等学校卒業と同等」とは日本なら『大学入学資格検定』や『高等学校卒業程度認定試験』の資格取得者などを指し、日本以外の国や地域の高等学校の卒業でも応募が可能な場合がありますが、受け入れの可能性の有無を事前に大学に確認する必要があり、その確認に日数がかかるので、早めにお問い合わせください。
- 大学院課程への応募に必要な学力では卒業大学は日本国内外を問いません。
- 英語の資格はどれか1つに該当し、大学側が定めた有効期限内に取得している事。

入学準備コース (ブリッジ・プログラム)	7年以内 - 2012 (H24) 年10月以降に取得
正規入学コース (共通)	2年以内 - 2017 (H29) 年10月以降に取得

※英語の資格の詳細は、『13. 英語の資格に関する補足説明』(5ページ)でご確認ください。

3. 入学金及び学費

コース	学位およびプログラム	学位取得に必要な単位数	入学金	1 講座の授業料	参考-1 単位当たりの授業料
入学準備	ブリッジ・プログラム	学位なし (※)	50 ドル	711 ドル	—
正規入学 (学部課程)	準学士	60 単位以上	50 ドル	711 ドル (3 単位の講座の場合)	(237 ドル)
	学士	120 単位以上			
正規入学 (大学院課程)	修士 (MBA)	36 単位以上	50 ドル	1,896 ドル (6 単位の講座の場合)	(316 ドル)

(新教育年度 - 2019年8月以降)

- 上記の金額は2019年度の授業料(予定)です。アメリカでは8月に教育年度が変わり、毎年その時期に授業料の見直しが行われており、上記の金額が2019年度の授業料として発表されました。2020年度以降の授業料についても変更される場合があります。
- 1つの講座は1学期で修了します。
- 講座は1学期ごとに登録手続きをします。(半年や1年単位での登録ではありません。)
- 学費は1学期ごとの支払いで、アメリカドル建てのクレジットカードでの前払いです。
- 授業料に教科書代や教材費は含まれていません。
- ブリッジ・プログラムは5つの必須講座と1つのオプション講座の全部で6つの講座で構成されていて、このブリッジ・プログラムで掛かる授業料は1講座当たりの授業料に受講講座数(必須講座×5+オプション講座×1)を掛けて算出します。
- 学部課程の殆どの講座の単位数は3単位ですが、3単位以外なら受講講座の単位数に上記の1単位当たりの授業料の金額を掛けて計算します。

4. 応募資格

以下の①～③の条件を全て満たす方。

- ① 18歳以上の日本国籍を有する方で、長崎県内に住民票の住所がある方。
- ② 入学に必要な学力の条件を満たしている方。
 - ブリッジ・プログラム、学部課程 - 高等学校卒業または同等の学力がある方。
 - 大学院課程 (MBA) - 4年制大学卒業以上の方。
- ③ 入学に必要な英語の資格のどれか1つをお持ちの方。

【英検について】

英語の資格は募集期間内に結果が出ている必要がありますが、「実用英語技能検定(英検)」は、試験の日程が一次と二次にわかれており、2019年度第1回検定の「一次試験」(2019年5月31日～6月2日に本会場及び準会場で実施)に「合格」、または「一次免除」に該当の方は、応募の『仮受付』を行い、その後は、二次試験(A日程-2019年6月30日、B日程-7月7日)に「合格」で、本年度の選考の対象とします。詳細は、「13. 英語の資格に関する補足説明」(5ページ)でご確認ください。

※「一次免除」は、2018年度第1回から第3回の検定試験の一次試験に合格したが、二次試験は棄権または不合格の方で、2019年度第1回検定試験の申込みで「一次試験免除」の申請をすると、二次試験から受けることが出来ます。一次試験合格者の一次試験免除可能期間は一年間。

5. 応募手続き

募集期間内に下記の提出書類を揃えて、佐世保市役所基地政策局内「米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会事務局」に提出してください。

提出書類	入学準備	正規入学
①入学願書(第1号様式) －撮影から3か月以内の証明写真(パスポート申請用)を貼付 －「本籍」と「現住所」は④に記載されているとおりに記入する	○	○
②履歴書(第2号様式)	○	○
③応募承諾書(第3号様式) －お勤めをしている人のみ(学校に在学中、自営業などは提出不要)	▲	▲
④住民票の写し(本人のみ) －個人番号と住民票コード以外のすべての記載がある －発行から3か月以内で、記載内容に変更がないこと	○	○
⑤最終卒業校の成績証明書(未開封)	○	○
⑥高等学校の成績証明書(英文－未開封) －「大学入学資格検定」や「高等学校卒業資格認定試験」は「合格成績証明書(英文－未開封)」	○	×
⑦高等学校の卒業証明書(英文－未開封) －「大学入学資格検定」や「高等学校卒業資格認定試験」は「合格証明書(英文－未開封)」	○	×
⑧英語の資格証明書の原本 －コピーを1部作成し、この原本は本人にお返しいたします。 －英検の2019年度第1回検定を受験して応募する場合は、提出書類が異なります。	○	○
⑨作文「なぜアメリカの大学で学びたいか」 － Why I want to study at an American College」 －A4用紙-日本語・英語で同内容のもの	○	○

「○」印は提出、「▲」印は該当者のみ提出、「×」印は提出不要。

- ①、②、③は当就学実行委員会備付の用紙に記入して下さい。用紙は佐世保市のホームページからダウンロードできます。(①と②は直筆で記入)。
- ⑥は卒業からの年数経過で、発行可能期間を過ぎている場合は、かわりに卒業した高等学校でこの証明書が発行できない理由書(英文)を取得して提出してください。
- ⑧を実用英語技能検定(英検)の2019年度第1回検定で応募をする場合は、募集期間内に試験の結果が出ないため提出書類が異なりますが、必ず書類は募集期間内に提出してください。(詳細は、「● 2019年第1回 実用英語技能検定(英検)の検定試験での応募について」(6ページ)でご確認ください)。
- ⑨は指定の題名で、同内容の作文を日本語と英語の両方で提出してください。当就学実行委員会備付の作文用紙は佐世保市のホームページからダウンロード出来ますが、A4サイズの用紙のページの左上に「題名」、右上に「就学希望者の氏名」が記入されていれば様式に関係なく受け付けます。タイプライターまたはワープロソフトで作成し、印刷したものを提出してください。

提出書類の内、⑧の原本は本人に返却しますが、①～⑤、⑧のコピー、⑨は当就学実行委員会事務局で保管、⑥と⑦は入学が決まりましたら大学に入学手続きのための書類として提出します。

6. 募集内容

入学準備コース（ブリッジ・プログラム） 9名以上
正規入学コース（学部課程 - 準学士・学士、大学院課程 - 修士） 若干名

㊟ - 入学準備コース（ブリッジ・プログラム）は、大学が実施条件として最少実施人数を定めているため、受講者の人数が最少実施人数に満たない場合、このコースの講座は実施されませんので予めご了承ください。

7. 募集期間

2019年4月8日（月）～2019年6月27日（木）

※郵送での応募は2019年6月27日（木）必着

8. 応募書類請求先および提出先

米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会事務局（佐世保市役所基地政策局内）

〒857-8585

長崎県佐世保市八幡町1番10号

T E L : 0956-24-1111（内線 2567）

F A X : 0956-25-9631

E-mail : kichisei@city.sasebo.lg.jp（佐世保市役所基地政策局メールアドレス）

（電話による問い合わせ受付時間は 8：30～17：15 / 土・日・祝日を除く）

9. 選考会

米海軍佐世保基地内大学就学候補者選考委員会の委員による日本語での面接。

2019年7月下旬～8月上旬を予定。（募集期間終了後、日程等は郵便で通知いたします。）

※筆記試験はありません。また、選考会以外での面接等はありません。

10. 就学予定者の最終決定

選考会の結果を受け、米海軍佐世保基地内大学実行委員会会長（＝長崎県知事）より米海軍佐世保基地内大学へ就学候補者として推薦されます。被推薦者に同大学より入学の許可が下りましたら、当就学実行委員会事務局から本人に郵送で通知いたします。

11. 本年度の就学予定

2019年10月下旬からの就学開始予定。

※入学準備コースのブリッジ・プログラムはコースの開始時期はあくまでも予定であり、同大学のプログラム開始の発表をもって同コースは開始されます。

12. インターネット環境の準備について

通信制の講座以外では、講座の登録などの手続き、教科書や教材の取得や課題の提出などもインターネットを介して行うために、自宅にインターネット環境があることが望ましく、Google ドキュメントや PDF やワードのファイルが取り扱える端末も必要です。無い場合はネットカフェなどインターネットなどが使用できる施設の利用の検討が必要です。

大学や担当講師との連絡には電子メールを利用するため、メールアドレスも必要になりますが、携帯電話会社提供のメールアドレスでは受信できない添付ファイルもあるため、パソコンで利用可能なメールアドレス（プロバイダー提供やフリーのものなど）を取得してください。

13. 英語の資格に関する補足説明

TOEFL iBT — Test of English as a foreign language, Internet-Based Testing

アメリカの非営利テスト開発機関”Educational Testing Service (ETS)”が開発した英語が母国語ではない人の英語能力を判定するためのテストで、テストセンターでコンピュータを使い受験します。

九州・沖縄地区は福岡、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄で受験可能です。

詳細は国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部のホームページ (<http://www.cieej.or.jp/>)、やプロメトリックのホームページ (<http://www.prometric-jp.com/>) で確認してください。

応募受付期間に受験者用スコアレポートが届かない場合は、かわりに TOEFL iBT のご自身のアカウントからダウンロードが可能なPDF版のスコアレポートを印刷して提出していただき、後日、受け取ったレポートを改めて提出してください。

TOEFL ITP (Institutional Testing Program) テスト®

TOEFL テスト作成元であるETS が提供する団体向け TOEFL テストプログラム (模擬試験)。

過去の TOEFL の問題が出題されるため、スコアに公式な効力はありませんが、世界中の教育機関で受験者の学術的な英語力をはかるために利用されており、メリーランド大学では入学準備コースのブリッジ・プログラムに限り、この試験のスコアでも応募を受け付けています。

試験は「Level 1 - TOEFL (140 問)」と「Level 2 - Pre-TOEFL (95 問)」の2種類がありますが、「Level 1」のスコアが応募の対象で、試験は当就学実行委員会事務局で実施しています。

IELTS – International English Language Testing System

イギリスの University of Cambridge ESOL Examinations、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education Australia : IELTS Australia が共同で管理・運営する英語能力認定テスト。日本国内は公益財団法人日本英語検定協会が実施運営と広報活動を行い、受験対象は16歳以上です。

『アカデミック・モジュール (Academic Module)』と『ジェネラル・トレーニング・モジュール (General Training Module)』の2種類がありますが、応募の対象はアカデミック・モジュールのスコアです。九州地区では福岡と熊本で受験可能です。

詳細は、公益財団法人日本英語検定協会のホームページ (<http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html>)、やブリティッシュ・カウンシル・ジャパンのホームページ (<http://www.britishcouncil.org/jp/japan.html>) で確認してください。

英検(実用英語技能検定)

入学に必要な資格として認められるのは、公益財団法人日本英語検定協会の「実用英語技能検定」で、それ以外の英検という名称がついているテストについては応募資格の対象外です。

一次試験は1級・準1級は本会場で受験しますが、2級から5級は本会場以外に団体単位で申し込む準会場でも実施されています。3級以上には二次試験(面接試験)があり、こちらは本会場での受験です。(1級の二次試験の試験会場は全国11都市での開催。九州・沖縄地区は福岡と沖縄の2か所です。)

同テストの詳細は、英検のホームページ(<http://www.eiken.or.jp/>)でご確認ください。

●2019年第1回 実用英語技能検定(英検)の検定試験での応募について

2019年度第1回検定試験の結果での応募を希望される方は、本年度の募集期間中に試験の結果が出ないため、この回の一次試験が「一次免除」または「合格」なら、応募の『仮受付』をします。ほかの応募者と同じように募集期間内に書類を提出していただきますが、英語の資格証明書のかわりとして下記の①または②を付けて募集締め切り日(6月27日(木))までに提出してください。

2019年第1回検定			
一次試験(本会場 6/2・準会場 5/31~6/2)の結果		二次試験(A日程 6/30・B日程 7/7)	
合格	①一次成績表と二次受験票のコピー	合格	7月19日(金)までに英検ウェブサイト で合否結果の確認を取り、結果を当就 学実行委員会事務局にお知らせくださ い。合格証は7月27日(木)までに提出 してください。
一次免除	②二次受験票のコピー (一次免除の記載があるもの)		

- この回の検定での応募の場合、『仮受付』のため英語の資格証のかわりに提出する二次試験の受験票は「2019年度 第1回実用英語技能検定」のものであり、「一次試験結果」欄に「合格」、または「一次免除」の記載があるもの。(ほかの回の検定の書類では受付をいたしません。)
- 締め切り日までに二次試験の受験票が届かない場合は、英検のウェブサイトの合否閲覧サービスで応募者本人の氏名と一次試験の結果、または一次免除であることを確認できる画面を印刷して提出し、後日、届いた受験票のコピーを改めて提出してください。
- 二次試験の結果は7月19日(金)までに英検ウェブサイトの合否閲覧サービスで必ず確認をして、当就学実行委員会事務局までその「合否の結果」を電話でお知らせください。
- 二次試験の合格証は7月25日(木)までに当事務局へ提出してください。合格証の受け取りが間に合わない場合は、英検ウェブサイトの合否閲覧サービスで受験者名と二次試験の結果が確認できる画面を印刷し合格証のかわりとして提出し、公益財団法人日本英語検定協会発行の合格証は到着次第、提出してください。

14. プログラムやコースの説明

ブリッジ・プログラム(入学準備コース)

母国語が英語以外の人を対象のESL (English as a Second Language) のプログラムで、アメリカの大学で授業を受ける上で必要な英語力(読解、作文、英文法やコミュニケーション力など)を身に付けるため、5つの必須講座と1つのオプション講座の6つ講座で構成されています。

	学期	講座番号	講座名	単位数
必須	第1学期	UMEI 030	Basic Interpersonal Communication Skills Course 基本的な対人コミュニケーションスキル	0
	第2学期	UMEI 020	Integrated Skills for College Literacy 大学教育に必要な統合スキル	0
	第3学期	EDCP 102	Integrated Skills for Academic Success 学業で成功するための統合スキル	3
	第4学期	EDCP 103X	Fundamentals of Writing & Grammar ライティングと文法の基礎	3
	第5学期	WRTG 101S	Introduction of Writing ライティング入門	3
オプション	第6学期	SPCH 100X	Foundations of Speech Communication スピーチコミュニケーション基礎	3

第5学期のライティング入門までの必須講座を順番に“C”以上の評価で修了すると大学からは修了証が授与され、その後は第6学期のオプション講座の受講の有無や英語の資格に関係なく、同大学の正規入学コースの学部課程に進めます。ただし、このプログラムを修了後に直接修士課程に進む場合は、正規入学のための条件を満たす英語の資格の提出が求められます。

- 講座は通学制で実施されます。
- 講座を受講する順番の入れ替えや途中の講座を飛ばして先に進むことはできません。
- 必須の5講座を連続して受講できなかった場合、最初からやり直す必要はなく、翌年以降に残りの講座を受講して“C”以上の評価で修了すれば同大学の準学士・学士課程に進めます。
- このプログラムでも受講講座の登録は1講座(1学期)ずつです。
- 1講座(1学期)の長さは8週間で、授業は週2回の合計16回。
- 授業開始は夕方以降(19時前後)に始まり、1回の授業は約3時間。
- 無断欠席は成績評価の減点対象ですので、欠席する時は事前に担当講師に連絡してください。
- 日本国内外を問わずに、ほかの大学で準学士や学士の学位を取得している人や、プログラムの履修中にほかの大学で準学士や学士の学位を取得した人はプログラム終了後に「Second Associate's Degree - 第2準学士号 / Second Bachelor's Degree - 第2学士号」の制度が利用できます。
- プログラムの途中で正規入学の条件を満たした英語の資格を取得した場合は、その時点から正規入学コースへの編入申請が可能です。(編入後に残りの講座を受講することも可能。)
- ほかのコースの就学生も、このプログラムの講座が受講可能で、この場合は全部の講座を受講する必要はなく、希望の講座だけを選んで受講できます。)
- **このプログラムには最少実施人数(9名)に定めがあり、最少実施人数に満たなければ講座は開講されません。**
- **このコースは始まる時期や講座が実施される時期が変更や延期される場合があります。**

正規入学コース-学部課程(準学士・学士)

アジア地区で履修可能な専攻学科

準学士(60単位以上)		
文系準学士 – Associate of Arts (A.A.)		
専攻	Accounting(会計学) Business and Management (ビジネスと経営学) Computer Studies (コンピュータ学) Management Studies (経営学) Foreign Language Area Studies - Japanese (外国語 – 日本語=日本人は履修不可) Foreign Language Area Studies - Korean (外国語 - 韓国語)	General Curriculum (一般教養) Mathematics (数学) Psychology (心理学)
学士 (120単位以上)		
文系学士 – Bachelor of Arts (B. A.)		
専攻	Communication Studies (コミュニケーション学) East Asian Studies (東アジア学) English (英語学)	History (歴史学) Humanities (人文科学)
理系学士 – Bachelor of Science (B. A.)		
専攻	Accounting (会計学) Business Administration (経営管理学) Computer Science (コンピュータ学) Criminal Justice (刑事司法学) Homeland Security (国土安全保障) Human Resource Management (人材管理学) Cybersecurity Management and Policy (サイバー・セキュリティ管理) Computer Networks and Cybersecurity (コンピュータネットワークおよびサイバー・セキュリティ) Information Systems Management (情報システム管理学) など	Management Studies (経営学) Marketing (マーケティング学) Political Science (政治学) Psychology (心理学) Social Science (社会科学)
<p>※学士には文系理系を問わず、上記の専攻以外に「副専攻」があります。</p> <p>※アジア地区にない専攻は通信制で履修可能なものがあります。詳細は、アメリカ本部地区のホームページ (https://www.umuc.edu/academic-programs/bachelors-degrees/index.cfm) でご確認ください。</p>		

- 年間5学期制で、1学期(1講座)の長さは8週間。
- この課程は殆どの講座が3単位ですが、一部に単位数が異なるものがあります。
- 在学年数に区切りがないため、途中で休学を取ることが可能です。
- 講座の登録は1学期ずつ、授業料もそれぞれの学期での支払いです。
- ほとんどの講座が在宅の通信制で受講が可能ですが、一部は日本国内にあるほかの米軍基地の講座室で開講されている授業を佐世保に配信して実施する通学制の講座(=Hybrid Class)があります。
- 通学制の講座の開始時間は、早いものは17時前後に始まります。
- 一般教養に該当する全学生共通の必須講座以外は、専攻ごとに受講する講座が違います。
- 学位取得のための専攻以外に「Certificates Program(修了証プログラム-18単位)」があります。
- 国や地域を問わず、既得の学位(準学士や学士)を取得した際の単位を組み込むことで、こちらの大
学で学位を取得するための第2準学士(や第2学士(Second Bachelor's Degree)の制度が設けら
れています。
- 学部課程の詳細は、<https://www.asia.umuc.edu/undergraduate-programs>で確認ください。

正規入学コースー大学院課程(修士ーMBA)

- 佐世保で就学可能な専攻は「Master of Business Administration (MBA)」で、全ての講座を通信制でアメリカ本部地区のクラスを順番通り受講します。
- 直接アメリカ本部に登録すると海外から学生扱いになるため、米海軍佐世保基地内大学を通した場合と授業料が変わりますので、就学の手続きをする場合は、必ず、同大学の佐世保事務所の担当者にご相談をしてください。

この課程については、大学のアメリカ本部地区のホームページ (<https://www.umuc.edu/academic-programs/masters-degrees/master-of-business-administration-mba.cfm>) でご確認ください。

アメリカの教育理念は「自らが学ぶ」ことを重視し、18歳以上は成人として扱われ、大学は学生が「主体的」に学ぶ場です。アメリカの大学で学ぶということは、授業で知識を得るだけではなく、大学を通してアメリカの社会に触れ、教室やそれ以外の場でも自分で考え、主体的に行動するための「思考力」「判断力」「実行力」などを養うことが含まれています。米海軍佐世保基地内大学を通してアメリカの大学に就学する学生にもアメリカの大学生として「自己責任の下に、個人で選択の判断が下せる大人」であることが期待されており、人任せにするのではなく、それぞれが独立した個人として、自ら行動する姿勢が求められます。

米海軍佐世保基地内大学への就学に関する質問は『米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会事務局』までお尋ねください。

〒857 - 8585

長崎県佐世保市八幡町1番10号 佐世保市役所基地政策局内

電話： 0956 - 24 - 1111 (内線： 2567)

E-mail: kichisei@city.sasebo.lg.jp (佐世保市役所基地政策局メールアドレス)

【電話による問い合わせ受付時間：8：30～17：15 (土日祝日を除く)】

※メールでの問い合わせは、メールの件名には「基地内大学情報提供希望」と記入し、本文には①「氏名 (漢字・ローマ字)」、②「住所」、③「就学を希望しているコース」、④「取得済みの英語の資格と取得年、または今後取得を予定している英語の資格」を記入してください。

⑤当事務局からのお知らせメールが受信できるようにメールのアプリやセキュリティの設定を変更してください。